

第64回 全国植樹祭 鳥取県実行委員会

第4回総会

日 時 : 平成23年11月21日(月)

場 所 : 県庁第22会議室



次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1)基本計画中間案について

4 報告事項

- (1)シンボルマーク、同愛称の審査結果について
- (2)ポスター原画の審査結果について
- (3)PRキャラバン隊事業業務委託コンペティションの審査結果について
- (4)お野立所審査専門員会の審査結果について
- (5)県内トヨタ販売店4社による車両協賛(プリウス)について

5 その他

6 閉会



添付資料一覧

- 資料 1 第64回全国植樹祭基本計画中間案(概要版)
- 資料 2 シンボルマーク、同愛称の審査結果
- 資料 3 ポスター原画の審査結果
- 資料 4 PRキャラバン隊事業業務委託コンペティションの審査結果
- 資料 5 お野立所審査専門員会の審査結果
- 資料 6 県内トヨタ販売店4社による車両協賛(プリウス)
- 資料 7 今後のスケジュール(案)

第64回全国植樹祭 基本計画中間案



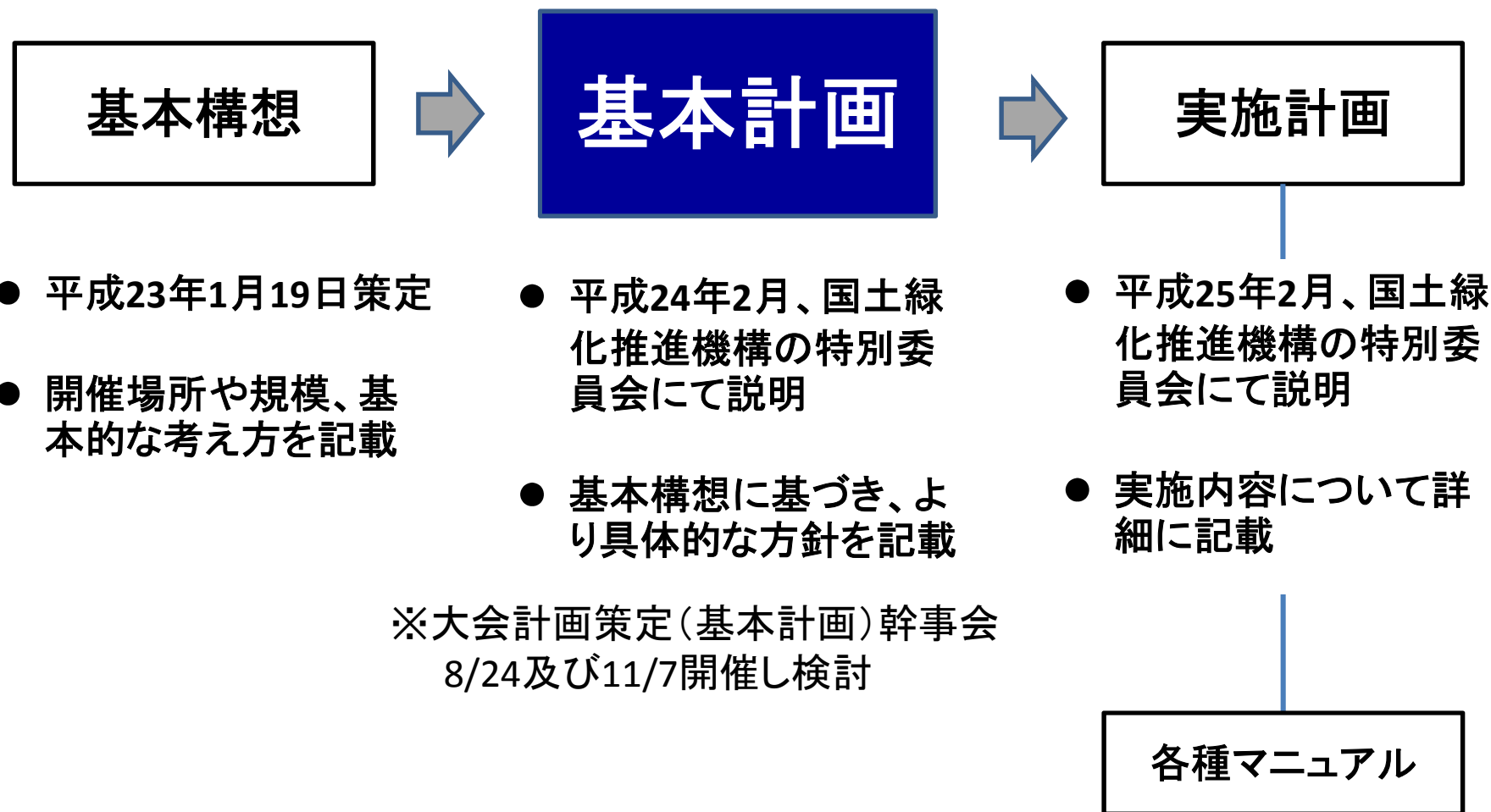
第64回

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

全国植樹祭

とっとり 2013

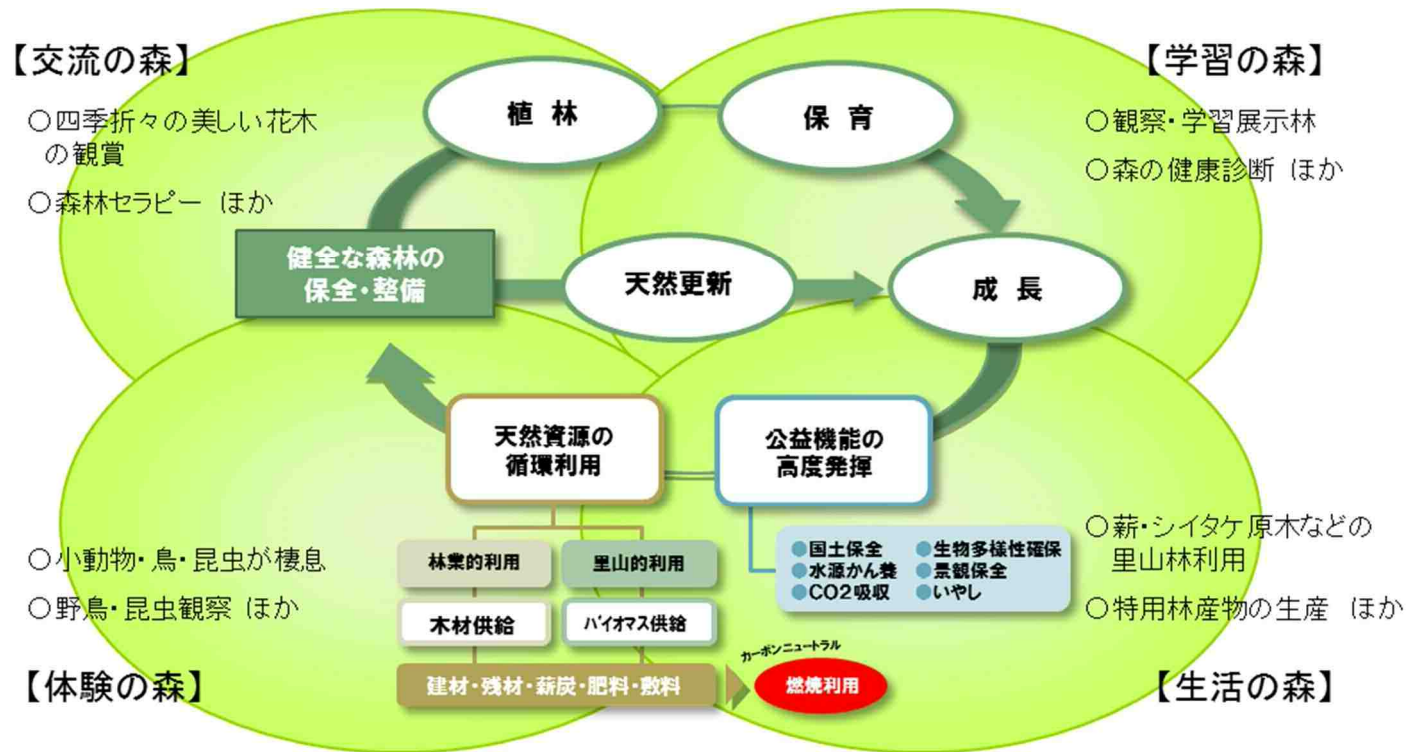
全国植樹祭の計画体系



第1章 開催概要 — 開催方針

平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。

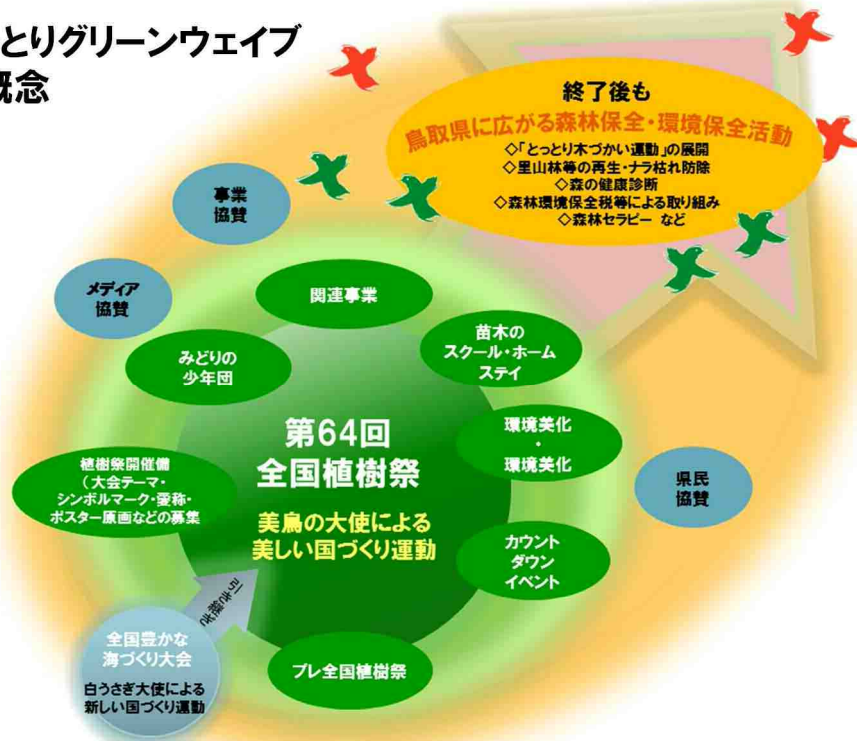
〔持続可能な森林づくりのイメージ〕



第1章 開催概要 — 県民運動について

○全国豊かな海づくり大会(平成23年度鳥取県開催)での取り組みである、森・川・海を守り育てる「白うさぎ大使による新たな国造り運動」を引き継ぎ、「美鳥(みどり)の大使による美しい国づくり運動」とし、第64回全国植樹祭の開催理念を将来に向かって共有し、実現し、次の世代につなげていくよう取り組みます。

とっとりグリーンウェイブの概念



新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」



Dynamic 力強い
Nature 自然界
Advance 前進



継承

全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」に参加いただくすべての県民が「広めるDNA」



美鳥の大使による美しい国づくり運動

波及・拡大

Daily 日常の
Near 身近な
Action 行動



継続

進化

第2章 式典行事計画 一 式典

時間	区分	プログラム	進行内容
10:15	プロローグ	プロローグ案内	鳥取県の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出	
10:47		記念式典のご案内	
10:58	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	
		大会テーマの表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現
		大会宣言	
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
11:46		閉会のことば	
		天皇皇后両陛下 御退席	
12:00	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
12:15		エピローグ演出	

第3章 植樹行事計画 一 植樹会場

とっとり花回廊いやしの森

県内招待者は、午前・午後に分かれて植樹



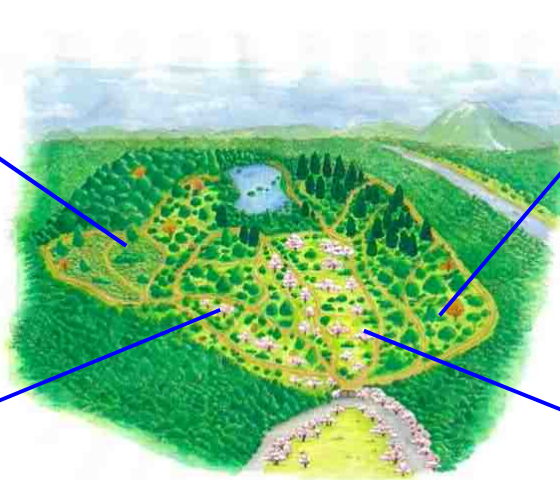
【生活の森】

人々の暮らしと共存した里山の森
アラカシ、スダジイ、コナラなど



【体験の森】

人と動物がふれあう多様性の森
エノキ、シバグリ、アベマキなど



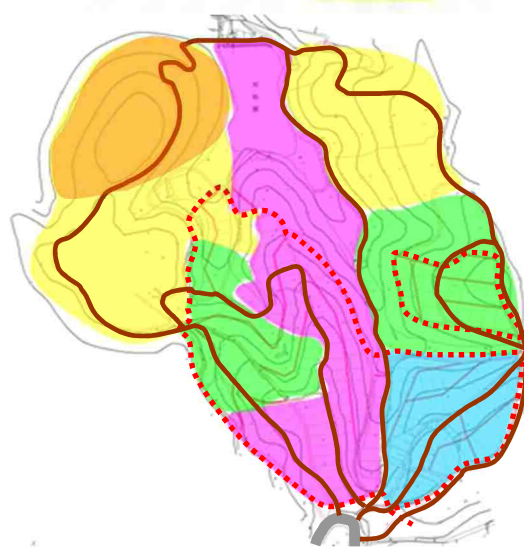
【学習の森】

県内の代表的な樹木を植栽する
学習の森
サザンカ、ツバキ、スギなど



【交流の森】

四季の彩りを感じられる樹木の森
ヤマザクラ、イロハモミジなど



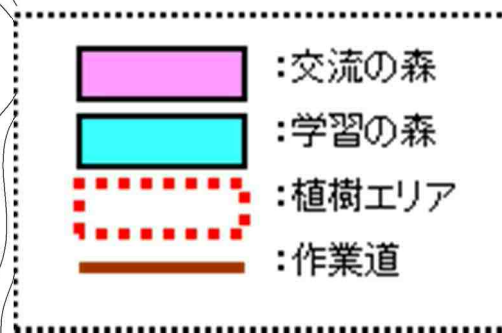
国立公園 奥大山鏡ヶ成高原



【交流の森】
四季の彩りを感じられる樹木の森
ナナカマド、カエデなど



【学習の森】
地元の子供たちがメモリアルとして江府町の木であるブナを植樹し、下刈などの林業体験などを行う学習の森



第4章 会場整備計画 一 施設計画



〔木製ベンチ〕
【無垢】



【LVL】



【Jパネル】



〔木製プランター〕



サイン計画 テーマカラー

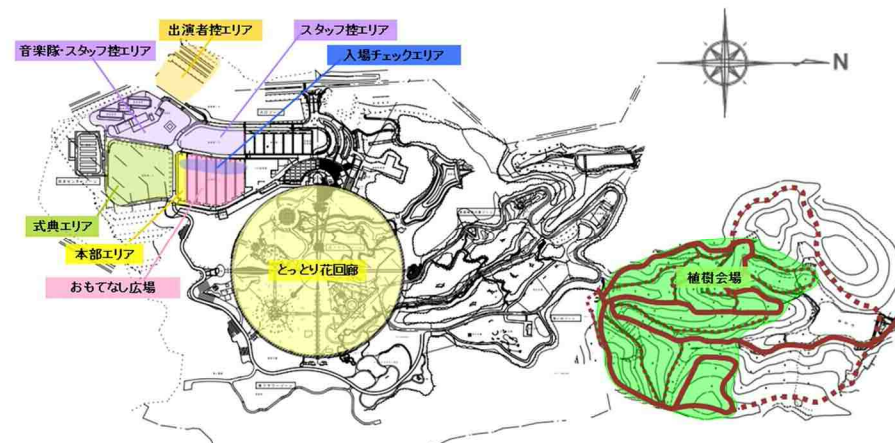
① 藍色



② 茜色



③ 緑色



第5章 運営計画 一 招待計画

区分		人数	備考
中央特別招待者①		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)		5,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、ボランティア
合計(①+②+③+④)		7,000人	

県外招待者:1,500人 県内招待者:3,500人
中央特別招待者以外は、全員バスで移動

第5章 運営計画 — レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎懇親を深める場とします。

〔主 催〕 鳥取県

〔開催日時〕 全国植樹祭開催日の前日 18:00～19:00(予定)

〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内

〔出席者〕 350名程度

- ・中央特別招待者(国務大臣、次期開催県知事、開催市町村長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長等)
- ・県外特別招待者(緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員)
- ・県内特別招待者(緑化功労者、県議會議員、市町村長、実行委員会委員等)

第5章 運営計画 — 会場おもてなし計画

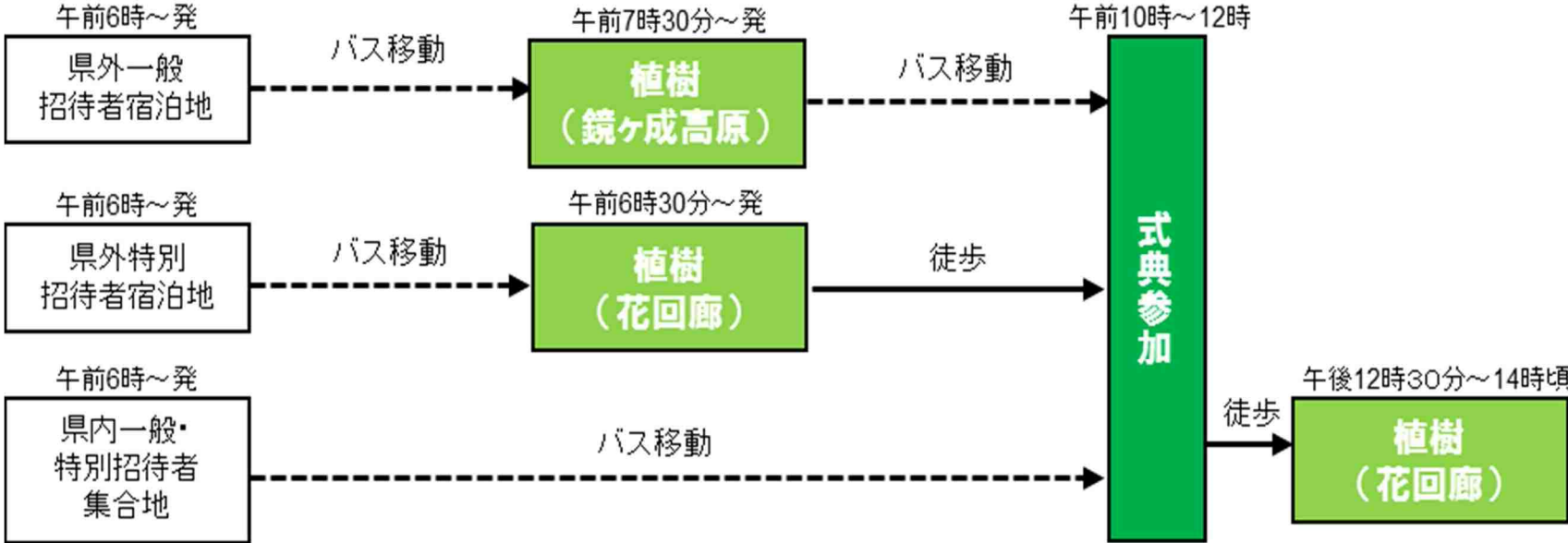
区分	施設名	内容
式典会場 (おもてなし広場)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	鳥取県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	鳥取県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

昼食計画、医療・衛生計画、消防・防災・警備計画を作成し運営

4～2週間前の総合リハーサルの際に接遇研修を実施

第6章 宿泊輸送等計画

植樹祭当日の参加者スケジュール



※高齢者・障がい者等に配慮した移動手段については、実施の段階で検討

第7章 荒天時式典計画

参加者一覧

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等	30人
県外招待者	国会議員、中央省庁、中央団体、受賞者等	350人
県内招待者	県議会議員、実行委員会委員、受賞者等	350人
本部員・協力員	実施本部員、運営ボランティア等	300人
計		1,000人

式典プログラム

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等
式典	
11:10	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会テーマの表現 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
参加者退場	

晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」、記念式典アトラクション、参加者代表記念植樹を除く構成

式典時間: 50分

第8章 県民運動

- 全国植樹祭開催の大きな柱と捉え、第1章開催概要に記載
- 第8章では再掲

県民運動の進め方

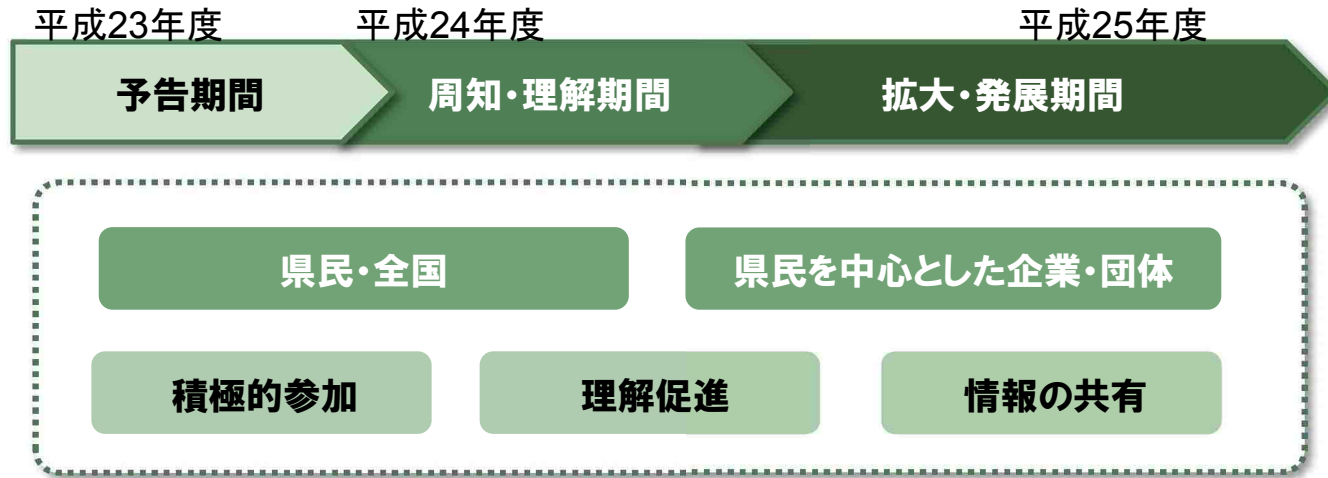
- 現在取り組まれている市町村の活動やNPO等の活動と連携・協働し、全県的な活動を促進
- 全国植樹祭への参加や、県民運動へ参加いただいた県民一人ひとりが身近な人へ伝え、発信し、県民全体への広がりを促進
- 「美鳥の大使による美しい国づくり運動」は、県が認定する「美しい国づくり運動」に参加した県民を「美鳥の大使」として認定

第9章 記念事業

- プレ全国植樹祭(1年前リハーサル)
- カウントダウン地域緑化イベント(平成24年度実施)
- ポスト植樹祭(地域植樹会場での植樹祭)
- 記録誌・記録映像の作成、記念切手の発行
- 苗木のスクールステイをはじめとする育苗事業

第10章 広報・協賛計画


○広報計画



○協賛計画



大会シンボルマーク、同愛称の審査結果

	大会シンボルマーク	大会シンボルマークの愛称
募集期間	H23. 6. 1～H23. 7. 11	H23. 8. 24～H23. 9. 30
応募作品	2, 273作品	4, 531作品
審査経緯 及び結果	<p>○予備審査 43作品 (審査委員が1人5作品を事前選考)</p> <p>○本審査 平成23年7月28日、審査委員10名の出席のもと、予備審査を通過した43作品の中から協議の上、最優秀賞を選定</p>  <p>○制作意図 鳥取県の鳥と樹木を合わせたデザインで、全体の輪郭は大山の形もイメージさせ、首から提げた双眼鏡には森の観察を呼びかけるメッセージが込められている。 また、胸のハートマークで大会テーマ「感じよう森のめぐみと 緑の豊かさ」を表現している。</p>	<p>○予備審査 40作品 (審査委員が1人5作品を事前選考)</p> <p>○本審査 予備審査通過作品の上位10作品について、商標簡易調査を実施し、会長が「トッキーノ」を選定</p> <p>○制作意図 「鳥取」と「木」を組み合わせ、インパクトのある親しみやすい愛称にした。</p>
作 者	いとう 伊藤 うちゅぷさん(千葉県) ※ペンネーム	たけうみ ひろか 武海 博華さん(西伯郡南部町)
表 彰	11月26日(土)に知事公邸で表彰予定	12月上旬ごろに表彰予定

大会ポスター原画の審査結果

- 募集期間 H23. 7. 12～H23. 9. 30
- 応募作品 545作品
- 審査結果
 - ①1次審査 各審査員が小・中学校・高等学校の各部門別に5作品ずつ選定
 - ②2次審査 1次審査で選定された作品について、審査員が協議し、小・中・高等学校の部門ごとに順位付け
 - ③全国植樹祭大会ポスター原画を知事が選定



- 作者 なかいえ 中家 しゅうと 秀斗さん(鳥取市立西郷小学校 5年生)
 - 作品名 「自然がいっぱい」
 - 制作意図 緑や生き物に囲まれて、笑顔で生活できる喜びを表現した。
- 入賞者の表彰
11月14日に県庁第2応接室において表彰式を実施

PRキャラバン隊事業業務委託コンペティション の審査結果

資料4

- 応募期間 H23. 9. 7~H23. 9. 13
- 参加業者 3社
- 審査年月日 H23. 10. 12
- 委託業者 日本海テレビジョン放送株式会社
- 委託金額 15, 534, 886円
- 委託期間 H23. 11. 1 ~ H24. 3. 31



PRキャラバン隊出発式(H23.11.4)



植樹イベントでのPRキャラバン隊活動の様子

お野立所新築工事基本・実施設計業務 プロポーザルの選定結果

【企画提案・プレゼンテーション】

参加者募集、企画提案受付：H23.9.7～10.28

提案者（6名）によるプレゼンテーション、選定作業：H23.11.9

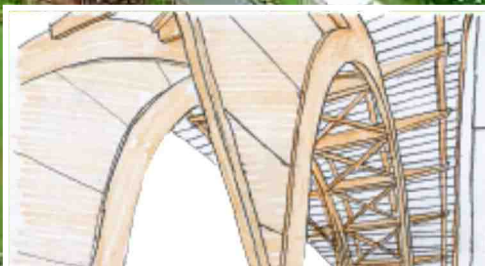
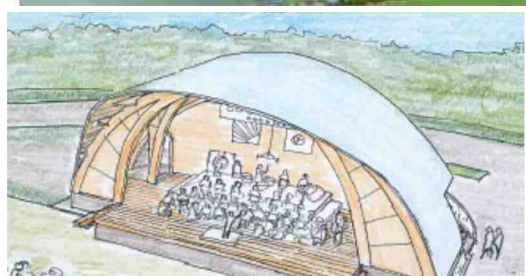
※ 企画提案書及びプレゼンテーションによるヒアリングを踏まえ
最優秀提案者を選定。

【お野立所検討専門委員会】

所属団体名	役職	氏名	備考
鳥取環境大学	副学長	東樋口 護	委員長
米子高等専門学校	准教授	高増 佳子	副委員長
鳥取県建築士会	会長	森本 博美	
鳥取県木材協同組合連合会	会長	岸本 由登	
(財)鳥取県観光事業団とっとり花回廊	園長	河崎 積	
鳥取県総務部	参事監	長谷川明史	

最優秀提案

～杵村建築設計事務所(米子市)～



【講評抜粋】

全体的にやわらかく丸い形状とし、式典時の機能面も大変使いやすく両陛下への配慮等よく考えられていた。

会場となる花回廊既存施設との一体感もあり、また式典後の野外ステージとしても、コンサート会場のイメージを損なうことなく提案されていた。

県内トヨタ販売店4社による車両協賛(プリウス)について

●引渡式

日 時 平成23年11月15日(火)11時30分～12時00分

場 所 鳥取市東町一丁目133 知事公邸

●協賛の概要

- ・県内トヨタ4社は、共同して、車両1台を県実行委員会に提供。
(トヨタ4社がレンタカー料金を負担、県実行委員会の負担はガソリン代等の管理費のみ。)
- ・協賛車両の車種 トヨタ プリウス (ハイブリッド方式による環境にやさしい車両)
- ・県実行委員会は、協賛車両の車体に全国植樹祭のロゴ等を貼り付けて、県内各地で行う出前説明会やPR活動に使用する。
- ・協賛車両の貸借期間は、平成25年11月15日から平成25年7月31日まで

●協賛いただいた県内トヨタ販売店4社

- ・鳥取トヨタ自動車株式会社
- ・鳥取トヨペット株式会社
- ・トヨタカローラ鳥取株式会社
- ・ネットトヨタ山陰株式会社



県内トヨタ販売店のみなさんと
平井知事・トッキーノ



協賛車両 プリウス
「森のめぐみトッキーノ号」